



中央

題字 前田 丞一 元校長

新校舎落成記念 平成 29 年度 学校要覧

〒060-0034 札幌市中央区北 4 条東 3 丁目 1-1

Tel: 011-241-6266 Fax: 011-241-6359

Web: <http://www.chuo-j.sapporo-c.ed.jp/>

Email: chuo-j@sapporo-c.ed.jp



札幌市立中央中学校

校名 校章 校歌

校名について、本校は昭和 43 年 9 月 1 日に一条中学校と陵雲中学校との統合中学校として、東北小学校跡地に開校した。前身の両校は札幌の中心部にあって有数の教育実践校であった。その両校の先達が築き上げてきた、よき校風と教育実践を受け継ぎ、名実共に百万都市札幌にふさわしい気品と品格と風格のある、しかも中央に位置する学校でありたいというビジョンで、「中央中学校」の名が付けられた。



校章の示す外型は、整然と交差している札幌の街路を型どり、その中心部に建つ学校の位置的なものを象徴している。中央の文字は金色で学校名を表して燦然と輝き、その地は銀色のいぶしで落ち着きと力強さを表現している。丸い台型には融和協力の団結を意味し、十字型の光芒は東西南北、無限に発展してやまない若者の希望、基部の金色尖型はペン先で、学問の探究への理知と聡明さを表現している。

校歌

作詞 石森 延男
作曲 入野 義朗

一

山は大雪 かがやきて
川は石狩 かげさやか
真理と正義 かがしつ
われらひとみに力あり
明るくたのしく新しき
札幌中央中学校

二

みのる果物 それぞれに
光り彩り かがわしく
個性と素質 のぼしつ
望みはるかに おおらかに
明るくたのしく新しき
札幌中央中学校

三

雲とひろがる ふるさとは
きょうも未来を はばたけり
愛情努力 助けあい
若き生命を うたわばや
明るくたのしく新しき
札幌中央中学校

作詞者の石森延男氏は次のように述べています。

第一章は、北海道を象徴する大雪山と石狩川を掲げ、中学校らしい若さをたたえ、真理探究と正義の念を目指すことをうたいました。第二章は、北海道の豊富な果物を取りあげ、その美しさと瑞々しさをなぞらえて、中学生の個性と素質の尊重、希望に燃える姿を表したつもりです。第三章は、雄大なる北海道の土地、愛すべき郷土、人間の信頼とかけがえのない大切な生命をうたいあげました。私は、北海道の地図を見ていると、大鳥がはばたいているように見えます。皆さんも大鳥のようにはばたいてほしい。それが各章の意味です。

中央中学校の沿革

- 昭和42.11.12 総合中学校準備委員会結成
- 昭和43.4.1 総合中学校事務取扱として伊藤茂初代校長(琴似中)、新宮敏朗教頭(一条中)発令
- 昭和43.9.1 札幌市立中央中学校開校式挙行
- 昭和44.3.15 第1回卒業式を陵雲・一条校舎毎に挙行(男336名、女274名、計610名)
- 昭和45.11.25 教育研究発表「独立心と根性の育成」
- 昭和46.4.1 大槻富雄校長 着任
- 昭和47.2.15 研究発表「学校図書館の望ましい運用と活用」
- 昭和48.9.21 放送教育研究全国大会「ひとりひとりの充実を期する授業実践」～9/22
- 昭和52.10.22 開校10周年記念研究会、講演会
- 昭和53.4.1 梅田節夫校長 着任
- 昭和53.10.14 開校10周年記念式典
- 昭和58.4.1 山の手養護学校つばみ中学部分校が併設
- 昭和59.4.1 林 信次校長 着任
- 昭和61.11.21 「中央の教育」研究発表会開催
- 昭和62.4.1 手代木 工校長 着任
- 昭和63.11.1 開校20周年式典・発表会
- 平成元.9.17 はまなす国体へ吹奏楽部が参加
- 平成元.9.30 全国身障者スポーツ大会へ吹奏楽部が参加
- 平成2.4.1 前田丞一校長 着任
- 平成2.11.22 市中学校放送教育研究大会
- 平成4.4.1 つばみ分校が豊成養護学校へ発展し中学部併置
- 平成4.11.13 「中央の教育」研究発表会
- 平成5.4.1 櫻井善介校長 着任
- 平成7.2.7 北海道教育実践表彰受賞
- 平成7.4.1 牧 豊子校長 着任
- 平成9.4.1 八木田貞俊校長 着任
- 平成10.10.8 開校30周年記念全道研究発表会
- 平成10.11.17 「心の教室」開設
- 平成11.4.1 幸丸政実校長 着任
- 平成13.3.16 新学校教育目標の制定
- 平成13.4.1 菅原晴雄校長 着任
- 平成15.4.1 本間眞智子校長 着任
- 平成15.5.28 平成14年度市P協団体表彰
- 平成17.10.21 技術・家庭科全国研究大会会場校
- 平成17.12.1 養護学校跡を言語難聴学級、多目的室等へ復元
- 平成19.4.1 植村敏視校長 着任
- 平成19.11.22 開校40周年記念教育実践発表会
- 平成21.4.1 佐藤哲夫校長 着任
- 平成21.4.1 通級指導教室設置
- 平成23.11.22 第4回北海道エネルギー環境教育研究大会開催
- 平成25.2.1 札幌市教育実践功績表彰「学校表彰」受賞
- 平成26.4.1 水野敏夫校長 着任
- 平成26.7.1 新校舎の「基本設計」を開始
- 平成27.4.23 文科大臣表彰-子どもの読書活動優秀実践校
- 平成27.11.6 北海道放送教育及び視聴覚教育研究大会開催
- 平成28.7.11 新校舎建築着工
- 平成29.4.1 橋本敏昭校長 着任
- 平成29.8.10 新校舎竣工
- 平成29.8.18 新校舎引渡、移転業務～8/23

学校経営の方針

1 校訓・教育目標

校 訓	「吾あり 人あり 学びあり」 …………… 学校像（長期的なビジョン）
・吾あり	自分自身を大切に、質の高い理想を目指し、強い意志をもって未来を創造していく生徒の姿
・人あり	友人、地域の人々とのつながりを大切に、日本や世界の国々の全ての人々と共に生き、思いやりの心を大切に する生徒の姿
・学びあり	真理と正義を追求し、社会の中で役立つ人になるため、確かな知恵を自らの学びとしていく生徒の姿
教育目標	…………… 生徒像（中期的なビジョン）
	～強い意志をもち、豊かな未来を創造する生徒～……………（統括目標） 吾あり
	○思いやりをもち、人との結び付きを大切に する生徒……………（徳育目標） 人あり
	○自ら学び、確かな知恵を身に付ける 生徒……………（知育目標） 学びあり
	○忍耐強く、たくましい心身を鍛える 生徒……………（体育目標） 学びあり

本校は、平成13年度から現在の校訓・教育目標を設定し、中央の教育を進めてきた。

これまで、校訓・教育目標は形骸化することなく、生徒・教職員ともに校訓「吾あり 人あり 学びあり」を合言葉に取り組み、校訓・教育目標に対して高い意識をもってしていると評価できる。

これは、本校の校訓・教育目標の質の高さとともに、学年経営、学級経営、校務経営はもちろんのこと教育活動の全てにおいて、その具現化に向け、組織を挙げて指導してきた教職員の力の結集の証である。と同時に、種々の活動を進めていくとき、企画、実行、反省のそれぞれにおいて、校訓・教育目標に向かっていくかどうかを是非の判断の根拠にしてきた成果でもある。

教職員はもとより、生徒・保護者・地域が本校の校訓・教育目標が目指す方向性を理解し、日々、校訓・教育目標を意識した学校生活を営むように育てていくことがすなわち教育活動であり、学校という組織体においては、目標や手立ての共有化こそが大きな力を生み出し、大きな成果を挙げることができると確信している。

もちろん目標への迫り方は様々にある。そこに生徒・教職員の個性や特色が発揮されていくことにより、吾と人との関わりを大切に、より一層創造的な中央の教育が展開されるものと考えている。

2 学校経営の方針

一心通う落ち着いた教育環境の中で、生徒一人一人に「生き抜く力」を育む

私たちは、本校で学ぶ生徒たちが、未来を切り拓く人間性豊かで創造性あふれる自立した札幌人として、強い意志をもち、豊かな未来を創造し、幸せな人生を歩んでほしいと願っている。校訓には、吾を大切に、人を大切にする学びの場でありたい、自立と共生を目指す学びの場でありたいという願いが込められている。

校訓の理念の下、保護者・地域の信頼・協力を得て、心通う落ち着いた教育環境の中で、豊かな未来を創造するために必要な生き抜く力を育み、教育目標の具現化を図っていききたい。

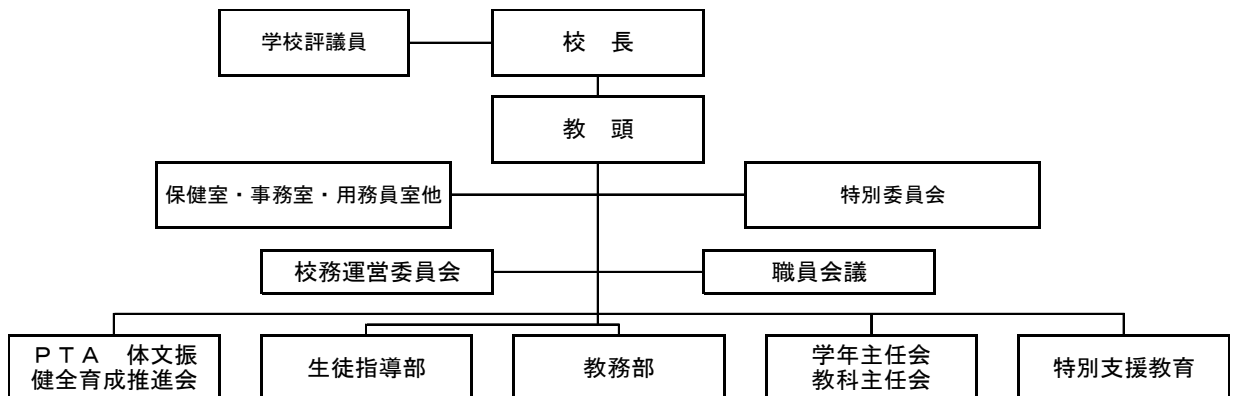
教職員と校務組織

平成29年 8月25日現在

		校長 橋本 敏昭		教頭 中山 明彦								
学年	1年		2年		3年							
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子				
1組	池田 恵美	保体	11名	16名	高田 淳 技家・数学	24名	14名	塚崎 亮	社会	18名	16名	
2組	渡部 功哉	美術	11名	16名	知北 紗代子 英語	23名	15名	平井 旭人	保体	20名	16名	
3組	山田 翔子	国語	11名	17名	工藤 千春 理科	23名	15名	名久井 あけ美	技家	19名	16名	
4組	鈴木 裕人	数学	12名	16名								
5組	荒木 千里	特支	3名						本間 朋子	特支	1名	
	村上 翔	特支	1年計		2年計		3年計		106名			
			113名		114名				全学年計			
所 属	堀田 恵美子	保体			羽賀 宗博	技家			菅 寿枝	英語		
	加藤 あゆ子	音楽			辻 仁司	社会			三浦 雅美	理科		
	植松 寛	英語			古畑 理絵	国語			保格 諭	数学	333名	
中島 裕恵 (養護教諭)												
ことばの教室	伊藤 瑞枝	通級言語	事務職員：金野 順一、高橋 朋也 用務員：丸田 則之、菅野 法幸 校務助手：品田 真由美 学校司書：常松 充子 スクールカウンセラー：加藤 才詠子									
きこえの教室	中島 豊子	通級難聴	【学校医】 五十嵐 有光 (内科)、長内 一 (眼科)、上埜 博史 (耳鼻科) 山口 勝 (歯科)、狩谷 洋子 (薬剤師)									
まなびの教室	桑島 啓介	通級学び										

部 活 動	男子バスケットボール：村上 翔、植松 寛	野球：鈴木 裕人、平井 旭人
	女子バスケットボール：高田 淳、植松 寛	女子バレーボール：保格 諭、知北 紗代子
	サッカー：池田 恵美、三浦 雅美、(中山 明彦)	
	吹奏楽：工藤 千春、名久井 あけ美	演劇：渡部 功哉、荒木 千里
	美術・工芸：山田 翔子、加藤 あゆ子	

・組織図



・PTA

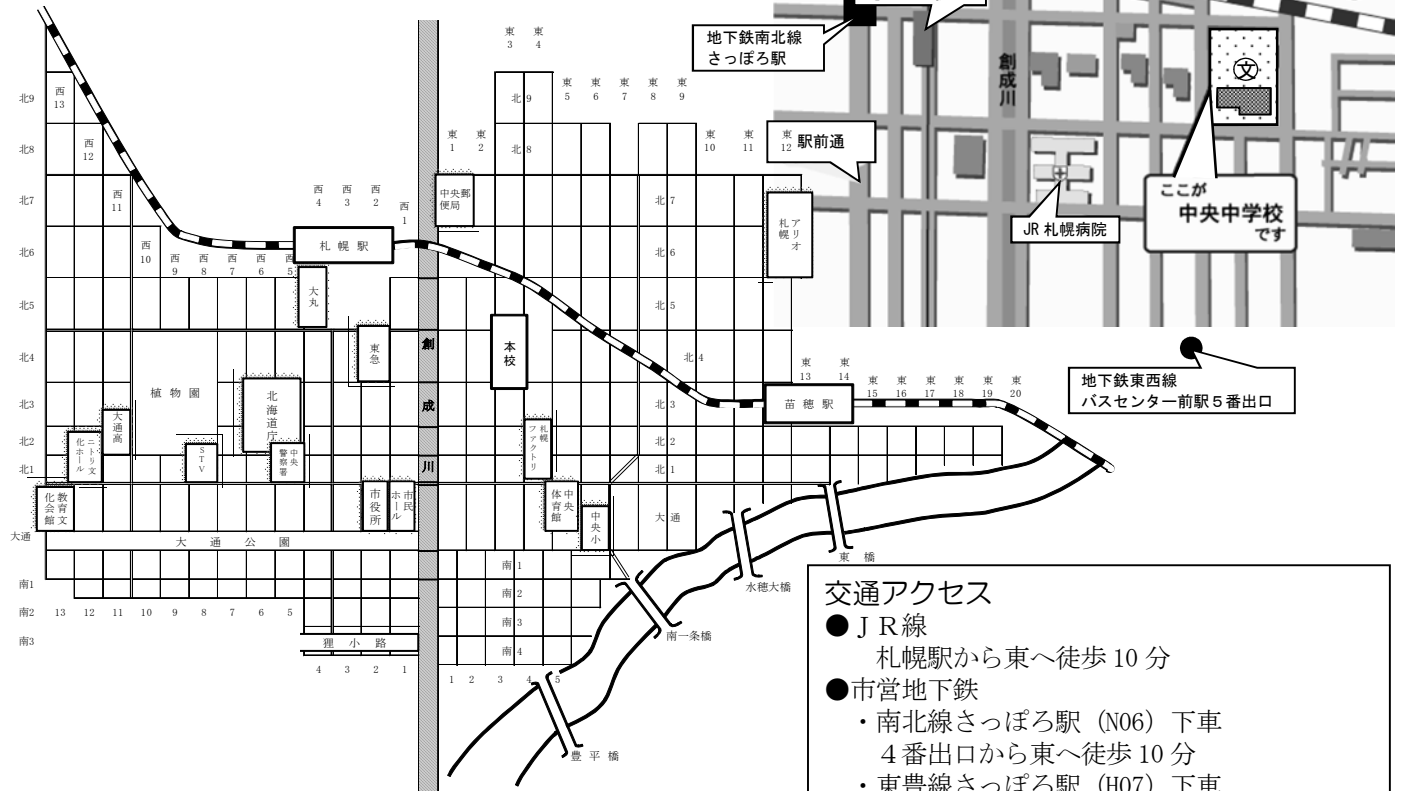
会 長	小笠原 知己
副会長	井上 弘美、山田 緑子、大窪 学、中山 明彦(教頭)
会 計	三瓶 美奈子、加藤 あゆ子(T)
監 査	川原 弘匡、越中 慎一
事務局長	三浦 雅美(T)
事務局次長	保格 諭(T)
事務局	池田 敦子、中野 綾子、田路 たみ、相原 里江子
広報委員会	◎日野 都、○西田 祥子、山田 翔子(T)
教養委員長	◎宮腰 香織、○河治 祐美、菅 寿枝(T)
保体委員会	◎北本 直美、○袖野 美千恵、名久井 あけ美(T)
3学年委員会	◎阿藤 ゆかり、○宮岸 美智子、塚崎 亮(T)
2学年委員長	◎福本 真裕美、○瀧川 朋美、高田 淳(T)
1学年委員会	◎長谷川 多恵、○木田 妙、池田 恵美(T)
顧 問	橋本 敏昭(校長)

平成29年度 少人数指導実施教科

1年 国語
1年 英語
1、2年 理科
2、3年 数学
1、2、3年 保健体育

校区と交通アクセス

通学区域



交通アクセス

- JR線
 - 札幌駅から東へ徒歩 10 分
- 市営地下鉄
 - ・南北線さっぽろ駅 (N06) 下車
4番出口から東へ徒歩 10分
 - ・東豊線さっぽろ駅 (H07) 下車
4番出口から東へ徒歩 10分
 - ・東西線バスセンター前駅 (T10) 下車
5番出口から北へ徒歩 10分

ホームページアドレス



<http://www.chuo-j.sapporo-c.ed.jp/>



校舎の概要と平面図

